

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 加藤 真治
幹事 兵藤 文男
会報委員長 山下 雅則

2015 ~ 2016年度 国際ロータリー K.R. ラビンドラン 会長テーマ

Be a gift to the world 世界へのプレゼントになろう

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2908回例会プログラム

[当年度=18回目；当月=1週目]

2015年（平成27年）12月7日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. 国歌斉唱
5. ロータリーソング斉唱……………奉仕の理想
6. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
7. 食事
- 12:45 8. 副会長挨拶並びに副会長報告
9. お祝い
(誕生日祝・結婚記念日祝・入会記念日祝)
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(12/14) ……クラブ総会
次年度理事役員選出
(12/21) ……クリスマス家族会
(親睦活動委員会)
18:00~ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋
28階クリスタルルーム
- 13:00 15. 本日のプログラム
新入会員アワー
三吉 茂俊 会員
河内 利夫 会員
16. 謝辞
17. 点鐘……………〈副会長〉
18. 閉会宣言
- 13:30 19. 散会

出席

会員総数 96名 出席免除 23名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 7名 出席率 92.05%
前々回 (11/16) の修正出席率 100%

副会長報告

- 1) ガバナーより加藤英樹会員にロータリー米山記念
奨学生選考面接官の委嘱状が届いております。



幹事報告

- 1) 本日、次年度理事役員指名委員会を例会終了後2
階特別会議室にて、開催致します。関係の会員はご
出席をお願いします。
2) 6日、FC刈谷リーグ優勝報告会に出席して参り
ました。

「ノーベル賞」

石川 覚雄



本日は、加藤会長の代理として、私が挨拶・報告をさせていただきます。

今回は、ラグビーのワールドカップでの日本チームの活躍について話しました。

予選では3勝1敗で、上手く行けば決勝トーナメントへの進出も夢ではなかったのですが、勝ち点の差で惜しくも予選敗退となってしまいました。次回の2019年東京での活躍が楽しみです。

また、来年開催されるリオデジャネイロのオリンピックで、初めて正式種目として採用された「7人制ラグビー」では日本チームの出場が男女ともに決まりました。7人制ラグビーは15人制と同じ広さのコートで、試合時間は短いのですが、スピード感があり、こちらも楽しみです。

ラグビーの話はこれくらいにしまして、今日はノーベル賞の話をしたと思います。

皆さんご存知のとおり、昨年に引き続き、今年も日本人2人がノーベル賞の受賞者に選ばれました。10月5日には、寄生虫やマラリアなどに関する研究で生理学・医学賞に大村智・北里大学特別栄誉教授が、6日には、物質の最小単位である素粒子の1つ、ニュートリノに重さ(質量)があるのを初めて確認したことで、物理学賞に梶田隆章・東京大学宇宙線研究所長が選ばれました。

昨年は、青色発光ダイオードの開発で、物理学賞に3人の日本人が受賞され、身近なこととして理解ができたのですが、今年はニュートリノ云々と受賞理由を聞いても中々ピンとこないのが何とも情けないことではありますが、日本人が世界最高の栄誉を受けることには、嬉しさを感じるどころでした。

たまたま、クレジットカード会社が発行している「てんとう虫」という月刊誌の11月号にノーベル賞に関する特集記事があり、興味深く読んだこともあり、少し紹介したいと思います。

大村さんは80歳、梶田さんは56歳と若い方で、日本の叙勲・褒章のような年齢基準はなく、偉大な功績があっても、受賞決定までに亡くなった人は選ばれないこととなっているようです。授賞式は3日後、ノーベルの命日である12月10日に行われますので、またテレビを賑わすことと思います。

ダイナマイトの発明で莫大な財を成したスウェーデン人のノーベルは生涯独身で63歳で亡くなる前年、1895年11月27日に、「遺産は人類に最も貢献した者に授与を」という遺言に署名を記しましたが、その内容は世界20カ国の93の工場と、355件の特許を含む300億円から350億円といわれる当時欧州最大といわれた巨額の遺産のほとんどをノーベル賞創設の基金にし、その利子を毎年、物

理学、化学、生理学および医学、文学、平和の5つの分野で、人類にもっとも大きな貢献をなした人に賞の形で与えるというものであったそうです。(経済学賞はノーベルの遺言には無かったが、1960年に創設された。)

しかし、この遺言の内容が世間の知る所となると、大きな非難、反対の嵐となり、ノーベル賞は決してすんなりとスタートできたわけではなかったようです。

非難の主なもの、①遺族の猛反対 ②外国人に大きな名誉を与える事への反対 ③高額な賞金(現在は800万クロナ、1.2億円)が国外に流出 ④平和賞の選考をノルウェーに委ねたことへの批判 などだったと書かれています。平和賞がスウェーデンの隣国であるノルウェー政府が選考し、首都オスロで授与式が行われることとなったのは、ノーベルの存命中、両国が同一国王の下で連合関係にあり、軍事力の行使に抑制的な歴史をもつノルウェーのほうが平和賞授与に適しているともていたことが理由のようです。

このような大きな非難、反対の嵐のなか、遺書で遺言執行人に指名されたノーベル晩年の側近で、その信頼の厚かった26歳のラグナール・ソールマンという火薬技術者の粘り強い説得で、ノーベルの死から1年半後に賞創設の同意を取り付け、1898年に資産管理と運用の重責を担うノーベル財団の設立が認可され、死後5年、1901年の12月10日、ノーベルの命日の日に第1回の授賞式が執り行われたそうです。今日、世界最高の権威と栄誉の賞として輝き続けるノーベル賞は、多くの障害を乗り越えてようやくスタートしたとの事です。

ソールマンの絶大な努力が無ければ実現しなかったであろうとも言われています。この若かった技術者ソールマンにもノーベル賞を授与するだけの貢献があったのではと思います。

まだ他にも面白い記事もありましたが、時間の関係もあり、以上とします。

お 祝 い

12月の会員の誕生日…杉山欣輝、杉浦世志朗、小野雄司、加藤繁則、山本善明、中川耕児会員。

配偶者の誕生日…盛田俊子(豊一)、鈴木千春(豊)、吉原梅世(孝彦)、内藤多香子(昇)、蓮見多美恵(昌孝)、磯部明子(一智)様。

結婚記念日…小林祥浩、大竹憲治、浅岡幸雄、久米博明、磯部一智会員。

12月度入会記念日…池田憲司、内藤耕造、久米博明、小川耕示、角谷広高、霜出俱弘、深谷嘉英、磯部一智会員。

新入会員アワー

三吉 茂俊 会員



8月に入会しましたトヨタ紡織の三吉です。私は1975年にトヨタ自動車へ入社、第1技術部に配属となり、ステアリングやサスペンション設計に従事した後、欧州へ3年間駐在しておりました。帰国後は、車両全般のプランニングを行う製品企画を担当

することとなり、アバロンやソアラ、最後はレクサスのチーフエンジニアとしてSC、GS、ISの3車種を開発してきました。10年前の国内レクサス開業に合わせたレクサスブランド再構築に携わることができたのも大変ラッキーでした。

7年半前にトヨタ紡織へ転籍し、そのまま米国の統括会社へ駐在、当初のミッションであったR&Dセンターの建て直しはうまくこなしたのですが、その後会社全般の経営を見るようになり、赤字からの脱却はならないまま7年が過ぎてしまいました。大変苦しい期間でしたが、私が帰国した途端、黒字に転向したのは何らかの因縁かと思えます。

本日は、米国で学んだ日米文化の相違についてお話を予定ですが、その前に弊社の概要について説明をさせていただきます。第一次世界大戦終了後の1918年、豊田佐吉が豊田紡織株式会社を設立、これが現在のトヨタ関係会社のルーツになっています。その後1922年、当時の碧海郡刈谷町に進出、ここが刈谷市とのお付き合いの始まりです。1926年には豊田紡織の織機製造部門を分離して豊田自動織機製作所を設立、ここからは皆さまご存じのように豊田自動織機の自動車部門を分離しトヨタ自動車工業ができました。1937年の話です。その後、繊維業界は構造不況に陥り経営は大変厳しいものとなりました。そして、繊維メーカーから自動車部品メーカーへと転進、紆余曲折を経て2004年にアラコ・タカニチと合併、現在のトヨタ紡織となりました。シートやドア等の内装品、フィルター・パワートレイン機器部品・繊維や一部外装品が製品概要で、新規事業として鉄道車両や航空機シートも手掛けています。

伝統と格式の刈谷ロータリークラブ初代会長は石田退三さんだと伺っておりますが、氏もかつては豊田紡織に在籍、1931年の組織表には営業部商務係主任の欄に名前が記載されております。

すべてはお客様のために、魅力ある移動空間を最高の品質と安全かつ快適性を求めて提供、現地現物をキーワードに中長期的視点に立った活動を進めています。先日のロータリーデーでお話しさせて頂きました地球環境との共生もコンセプトのひとつとして掲げています。

本日の主題であります『日米文化の違い』につきましては紙面の都合上、詳細説明を割愛させていただきますが、『相互理解』と『相互尊重』が『相互信頼』を生むというキーワードが結論です。

新入会員アワー

河内 利夫 会員



こんにちは、刈谷商工会議所の河内です。今年の8月に、前任の三品から引き継ぐかたちで、伝統と格式のある、刈谷ロータリークラブに入会させて頂きました。改めてお礼申し上げます。今日は、自己紹介と以前の職場での問題対応事例について

紹介させていただきます。

自己紹介ですが、生まれたのは、1954年11月7日です。愛知県岡崎市の伝馬通りと言うところです。昔の岡崎藩の宿場町で本陣があった商店街です。同じ通りに、岡崎では「手風琴、アウユキ」といったお菓子で有名な備前屋さんという、老舗の和菓子屋さんがあります。生家は、祖父が仏具を扱う商売をしていました。父親はサラリーマンで愛知製鋼に勤めていました。当時の時代は政治面では吉田茂内閣が辞職、映画はゴジラや七人の侍がヒットして、名古屋のテレビ塔も完成した年です。また刈谷ロータリークラブの設立承認もこの年の3月30日との事で、同じ年になります。現在は同じ岡崎市の北部、石神町に住んでいます。岡崎北高校の近くになります。学校は、小・中・高と地元で過ごし大学は、明治大学に進みました。

つぎに、職歴ですが1977年に大学を卒業してトヨタ車体に入社しました。当時の時代は巨人の王選手がホームラン756本の新記録を達成し、国民栄誉賞の第1回の受賞者になったり、また、当時のアイドル、キャンディーズが解散した年になります。入社後の業務経歴ですが、最初に配属された経理部を皮切りに調達部、人事部と事務部門を主に経験してきました。各部署での主な経験業務は、経理では社内の利益計画の策定と原価改善の旗振りを担当していました。調達では部品の仕入先選定と発注業務を担当していました。人事では、ちょうどバブル景気の人手不足の時代に採用を担当していました。その後2009年にトヨタ車体の子会社のエル・エス・コーポレーションに出向しました。鳩山連立政権が発足し、アメリカではオバマ政権がスタートしノーベル賞を受賞した年です。そして、今年、2015年の4月から現在の刈谷商工会議所にて勤務しています。

つづいて、家族についてですが、妻はトヨタ車体の同期入社の人です。子供は娘が2人います。娘たちもすでに結婚をして独立しています。長女に1人、次女に2人の孫がいます。それと12歳になるミニチュアダックスが1匹います。趣味はとことん打ち込んだものはありませんが、旅行にはよくいきます。子供たちが学生のころは長期休暇を利用してよく温泉にっていました。今は妻と京都に年4回くらい行って、古い町並みやお寺まわりをしています。読書関係は司馬遼太郎と内田康夫が好きで、ほとんどの作品は読んでいます。あと、キャリアだけは長くて上手くならないゴルフも会社の先輩と年に数回、出かけています。ホームコースは額田ゴルフ倶楽部です。

さて、子会社の役員に就任した時に感じた問題点とその対応について、少し説明させていただきます。将来の事業継続を考えた時に問題点が2点ありました。人材確保に向けた雇用環境の整備と当時、発生した重大災害を受けた安全教育の整備でした。なかでも人材確保・人手不足対応の難しさは現在も、変わっていないと思いますので、当時、実施した雇用制度の見直し内容について説明させていただきます。まず、会社概要ですが、従業員は450人、主な事業はトヨタ車体の給与計算などの事務代行、寮・保養所などの会社施設の管理運営、工場などの施設警備と人材派遣です。人材派遣では刈谷市内の企業やこの刈谷商工会議所にも派遣実績があります。従業員の構成ですが非正規社員が77%と多く、また平均年齢も53歳と高い特徴があります。将来の職場の核となる人材を、継続的に確保・育てる仕組みや、働きやすくモチベーションアップにつながる制度の必要を感じました。具体的な対応として①仕事と子育ての両立支援のしくみ②能力を一杯活かしチャレンジできるしくみ③個々のニーズに応じた多様な働き方のできるしくみを盛り込んだ人事制度が必要であり、整備を進める事にしました。また、職場での人間関係や地域、家庭内でのストレスなどで悩まれている方も近年、増えてきていますので、対応として困りごとを相談できる窓口を設置し、窓口の連絡先をカレンダーに載せて、全社員に配布し、周知を図りました。この12月より50人以上の事業所に義務付けられる事になった個人のストレスチェック制度に先行して、心の健康相談も準備しました。人事との定期面接や健康診断時の自己申告により産業医によるアドバイスや必要に応じて専門医にも紹介する体制としました。また、職場でのパワハラやセクハラなどの労務問題への対応として弁護士や社労士にも相談できる様にしました。今後の人事制度は雇用情勢などを考えますと、トヨタ自動車が検討している定年後も現役と同処遇とするシニア活用策や、在宅勤務の拡充など働き方の選択肢を広げる方向が強まると思います。また、資生堂ショックと言われる女性のキャリア・アップ強化による戦力化も、今後の検討課題だと思っています。

次に現在の職場、商工会議所の取組のなかで安全・安心に関係する内容を、紹介させていただきます。まず、階段の落下防止を実施致しました。従来は手すりのパイプと床面の間から、小さなお子さんなどが落ちてしまう危機がありましたので、この隙間を透明なボードでふさぐことにしました。もう1点は、この会館は公共性も高く、多くの方にご利用頂いていますので、緊急時の備えとして1階のフロアーにAEDを設置するとともに、職員に対してAEDの取り扱いと、胸骨圧迫の訓練も実施し、より安全な環境のご提供をしています。

以上、自己紹介と少し具体的な職場での対応を紹介させていただきました。先ほど申し上げましたが、現在の会議所の経験はまだまだ未熟ですが、職員一同と共に、地域のお役にたてるように進めていきたいと思っています。今後ともご指導のほど、お願い致します。